



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	Study on Safe Vegetable Supply Chain of Supermarkets in Vietnam [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review]
Author(s)	Nguyen, Thi Kim Oanh
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(農学)
Dissertation Number	甲第14156号
Issue Date	2020-06-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/78919
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	doctoral thesis
File Information	Nguyen_Thi_Kim_Oanh_review.pdf, 審査の要旨



学 位 論 文 審 査 の 要 旨

博士の専攻分野の名称 博 士 (農 学) 氏名 Nguyen Thi Kim Oanh

審査担当者	主 査	教 授	坂 爪 浩 史
	副 査	教 授	近 藤 巧
	副 査	准教授	朴 紅
	副 査	講 師	清水池 義 治

学 位 論 文 題 名

Study on Safe Vegetable Supply Chain of Supermarkets in Vietnam
(ベトナムのスーパーマーケットによる安全野菜のサプライチェーンに関する研究)

論文は序章、終章を含む6章からなり、図 28、表 38、文献 112 を含む総頁数 152 の英文論文である。別に 1 編の参考論文が添えられている。

ドイモイと呼ばれる改革・開放政策の導入以降、経済発展の続くベトナムでは、食料の安全性についての関心が高まってきている。中でも野菜は重要な食料として位置づけられており、また、農薬中毒事件なども多発しているため、政府によって安全野菜の推進が図られるようになってきた。本研究はこの安全野菜に着目し、その主たるプレーヤーとなっているスーパーマーケットを中心としたサプライチェーンの特徴について、実証的に解明したものである。

第 1 章では、ベトナムの野菜市場において普及している安全野菜の主要な認証基準が RAT (Rau An Toan、ベトナム語で安全野菜)、VietGAP および有機栽培の 3 種類であること、認証導入の難易度は RAT が最も容易であり、VietGAP が中位、有機栽培が上位(導入が難しい)ことを整理した。

第 2 章では、安全野菜の流通経路が伝統的な小売部門と、スーパーマーケットが主導的地位を占める近代的な小売部門とで大きく異なっていること、前者では慣行栽培品および RAT が扱われるのに対し、後者では RAT のみならず VietGAP や有機栽培にもとづく野菜が流通していることを明らかにした。さらに、スーパーマーケットの安全野菜サプライチェーンは国内資本と外国資本によって異なっており、国内資本のスーパーマーケットチェーンでは主に VietGAP 認証の野菜を自社農場や産地の農協から、より直接的に調達しているのに対し、外国資本のスーパーマーケットチェーンでは RAT が主であり、商人を利用した間接的な調達となっていること、後者(外国資本のチェーン)でも、厳格な品質管理によって野菜の品質と安全性を確保していることを明らかにしている。

第 3 章では、安全野菜の認証を受けている流通組織の性格によって、その流通経路が異

なっていることを分析している。農協のうち、計画経済時代の合作社の性格を残している旧型農協は主に RAT を商人に対して販売しており、認証システムに対してあまり満足していない。これに対して、市場経済に適応する形で登場した新型農協は VietGAP 認証野菜を中心に取り扱い、これを近代的な小売業者（スーパーマーケット）に直接販売、もしくは VinEco（国内資本のスーパーマーケットチェーンによる自社農場運営会社）へ供給するという直接的な流通システムを採用する傾向が強い。さらに、比較的大規模な農場およびスーパーマーケットの直営農場は VietGAP や有機栽培の野菜をより重点的に取り扱っており、短い流通経路でスーパーマーケットに供給している。このように、流通組織・経営体によって扱う野菜と採用する流通経路が異なっており、難易度の低い RAT を扱う流通組織は従来型の長い流通経路を、VietGAP や有機栽培の野菜を扱う流通組織・経営体はより短い流通経路を採用する傾向があることを明らかにした。

第4章では、スーパーマーケットに安全野菜を供給する商業会社（商社）を対象に分析を行い、その調達において、農協など特定の相手から購入するようになっていることを明らかにした。このうち、自社農場を開設して VietGAP 認証の野菜を調達する商社は、よりスーパーマーケットへの供給割合が高く、逆に、RAT を農協などから調達している商社はスーパーマーケットへの供給割合が低い傾向があることを明らかにした。

終章では以上を総括し、スーパーマーケットを中心とする安全野菜のサプライチェーンは、VietGAP や有機栽培などより高度な認証を採用する場合には短くなり、より低度な認証である RAT を採用する場合には長いサプライチェーンとなる傾向があること、こうした傾向が生じるのは、自社生産を含む短いサプライチェーンが野菜の品質と安全性の両面において、より良好な監理とリスクの低減を実現できるからであることを明らかにした。さらに、ベトナム政府の役割として、野菜の安全性向上のため、基礎的な認証基準（RAT）のさらなる普及とサプライチェーンに沿った垂直的な調整機能の改善があることを明らかにした。

このように本研究は、スーパーマーケットを中心とする安全野菜のサプライチェーンについて、その形成論理を解明したものである。安全性を含む品質管理が高度に要求される野菜の場合はより短いチェーンが形成される、という現象は、ひとつには多段階流通の効率性を示唆しつつ、品質管理を支える制度的インフラストラクチャーの脆弱な段階においては敢えて短いサプライチェーンを組まざるを得ないことを示している。こうした特徴は経済的に離陸しつつある東南アジアでは広く適用可能なものであり、本研究の重要性と普遍性を示すものである。

よって審査員一同は、Nguyen Thi Kim Oanh が博士（農学）の学位を受けるのに十分な資格を有するものと認めた。